

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スカフォールズ			
○保護者評価実施期間	2025年 3月 17日		～	2025年 4月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数)	16
○従業者評価実施期間	2025年 3月 10日		～	2024年 3月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○訪問先施設評価実施期間	2025年 3月 17日		～	2025年 3月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	16	(回答数)	14
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	発達学博士監修の元、専門的支援員各々がこどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援を提供している	発達学博士監修の元、個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成している	職員の質向上の為に研修に積極的に多々取り組んでいる 事業の質向上の為に業務の見直し・改善に日々努めている
2	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画が作成されている	保育所等訪問支援計画を作成する際には、保護者から聞きとりし、児童発達支援管理責任者に加えて訪問員や児発/放デイの担当者等こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている	今後も丁寧におこなっていく
3	事業所の支援への満足度が非常に高い	保育所等訪問支援の実施報告の際にこどもの状況を丁寧に伝えて話し合い、こどもの発達や今後の支援について共通理解を持つよう努めている	定期的にSNS等で活動内容等を発信する

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	（非常時等の対応について）SNS等で活動内容等を発信しているが周知されづらい	訪問先での緊急時は訪問先施設が定める手順に従うので、保護者は通常の登園・登校時と区別する必要がない	引き続き、玄関にて事故怪我災害マニュアルを掲示し、保護者がいつでも確認できる状況をとっておく
2	訪問支援で教具教材を使用した際、保護者が捉えづらい	保護者へ訪問報告の際に使用した教材教具については話だけではイメージが難しい	保護者へ使用した教材の実物や写真を話をしながら提示する
3	訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていることがわかりづらい	保護者へは、こどもや取り巻く環境、先生との話の報告にとどまり、訪問支援先へ制度、支援内容の説明や話し合いも行っていることは保護者への報告に含んでいなかった	保護者への初回報告の際に、訪問先への挨拶や制度説明を行ったことを伝える